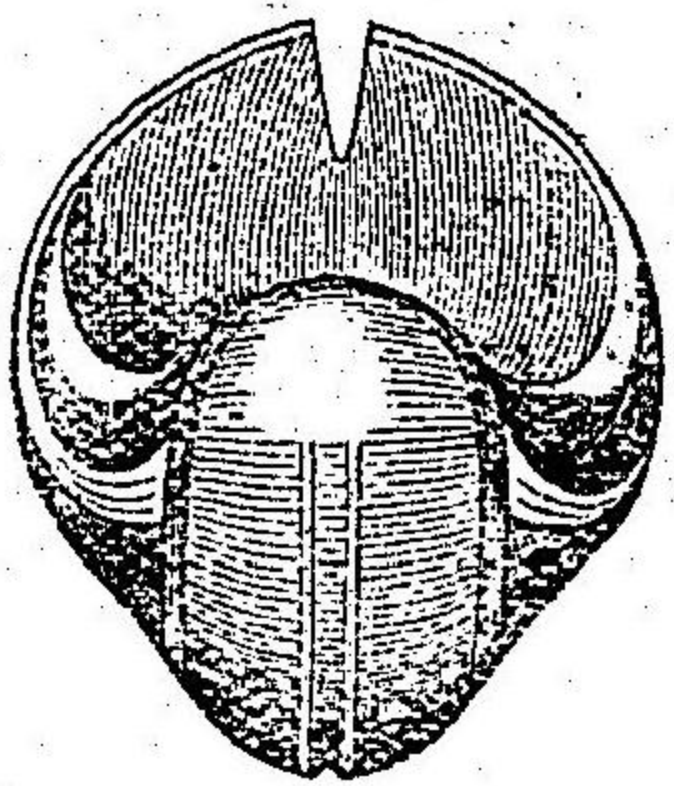


斷口アリ其痕各螺環ニ遺リテ二條ノ併行線ニ界セラル、所謂裂罅帶
Slit-bandナルモノヲ形シテ志留利亞ニ現ハレ古生中生ノ兩代ニ尤モ盛
ニ今ハ僅ニ四種ヲ餘セリ中ニ就キ一種ハ我相摸洋ニ産ス頗ル希ナリ
○むるちそにヤ Murchisonia (第百五十一圖甲) 殼ハ塔狀ニシテ又外層ニ
斷口アリ裂罅帶モ亦明ナリ古生代及三疊紀ニ産ス

●ベレろふをん科 Bellerophonidae 殼ハ平面螺旋狀ヲナシ左右相稱ヲ
呈ス外層ノ中央ニ深キ斷口アリ其痕各螺環ニ存シテ明カナリ○ベレ

べれろふをん、びがれめす
(石炭三分ノ二)

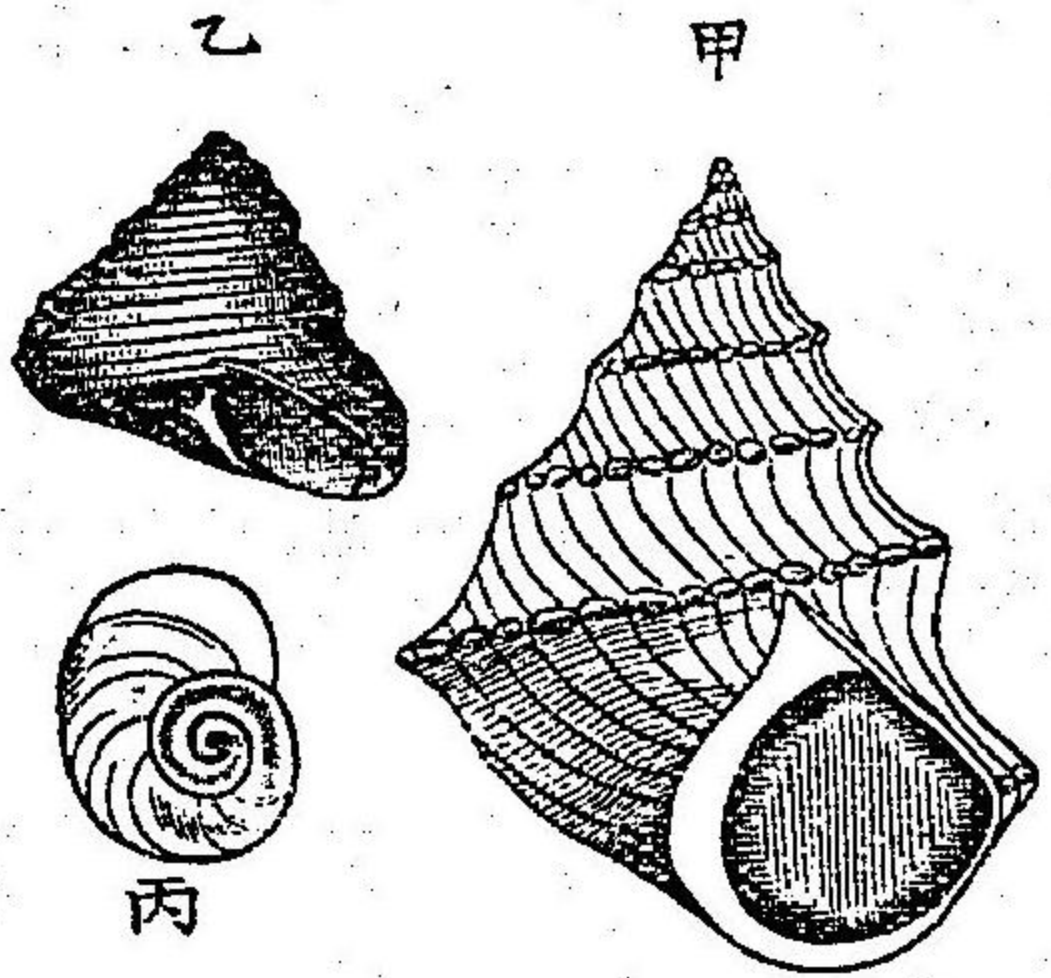
圖二十五百第



ろふをん Bellerophon (第百五十二圖) 球狀若クハ
圓盤狀ヲナシ表面ハ平滑ナルカ又ハ横條文ヲ
呈ス古生代ノ産ニシテ本邦石炭紀ニモ亦一種
ヲ出ス

●腰高科 Trochidae 圓錐形又ハ獨樂形ニシテ内
面眞珠輝ヲ呈シ螺旋狀ヲナセル角質或ハ石灰

圖三十五百第



(甲) 螺環つるば、すぶぶぶりの
たす(休羅)
(乙) 腰高きろくす、ばつるす
(丙) 螺環ノ層(漸新)内面
以上自然大

質ノ層ヲ有セリ○腰高 Trochus (第百五十三

圖乙) 殼ハ圓錐形ニシテ底平ニ口ハ概テ四角

ナリ志留利亞ニ現ハレ今モ尙生存ス○螺環

Turbo (第百五十三圖甲丙) 前屬ニ似テ螺底モ

亦概テ凸狀ナリ口ハ殆ド圓シ志留利亞現世

ノ間ニ産ス

●浮介科 Neritidae 殼ハ半球狀ヲナシ螺旋部

甚ダ短ク口ハ半月形ヲ呈ス内層ハ平夷ニシ

テ往々齒ヲ有セリ層ハ石灰質

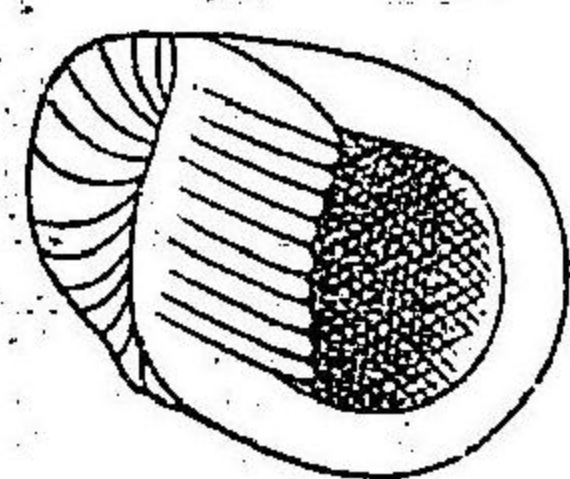
ナリ○浮介 Nerita (第百五十四圖) 殼厚ク螺旋部非常ニ短

ク殆ド無キガ如シ内層ニハ概ネ齒アリテ外層ニモ亦之

アルコトアリ白堊ニ現ハレ今モ尙産ス○ぬりちな Nerita

殻薄ク外層モ亦薄シ内層平ク薄葉狀ヲナシテ突出シ

圖四十五百第



浮介れりた、く
らてるばな(中
新世)自然大

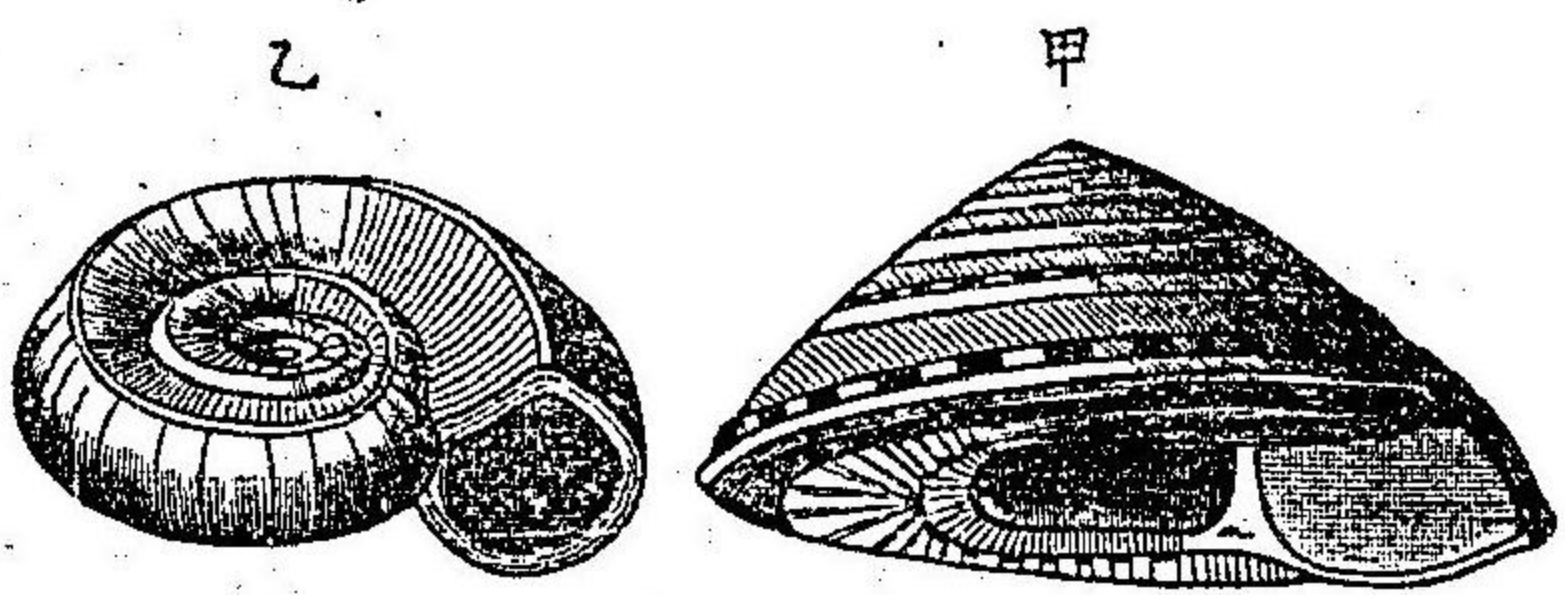
其齒單ニ薄クシテ銳キカ又ハ小鉅齒ヲ有セリ侏羅ニ現レ今尙存ス

○第四亞目 櫛齒類 *Otenobranchiata* 左鰓

不完全ナレモ右鰓ハ大ニ發達セリ雌雄異躰ナリ殼ハ概テ螺旋狀ナルモ罕ニハ鳥帽子狀ナリ本類ノ大部ハ海産ニシテ一部ハ陸及ヒ淡水ニ栖メリ

●車介科 *Solaridae* 殼ハ螺旋狀ニシテ低圓錐形或ハ圓盤形ヲナセリ臍アリ大ナリ現世種ノ曆ハ角質ナルモ化石ノモノニハ石灰質ナルコトアリ○車介 *Solarium* (第百五十五圖甲) 低圓錐形ニシテ臍大ニ其周圍ニ往々齒アリ口ハ大抵四角形ヲナシ外唇ハ銳シ三疊紀現世ノ間ニ産ス○*ゆおんふあるす* *Euomphalus* (第百五十四圖乙) 圓盤或ハ低圓錐形ニシテ螺旋部往々凹形ヲナセリ螺環ニ稜アリ是レ口部ニ存スル斷

圖五十五百第

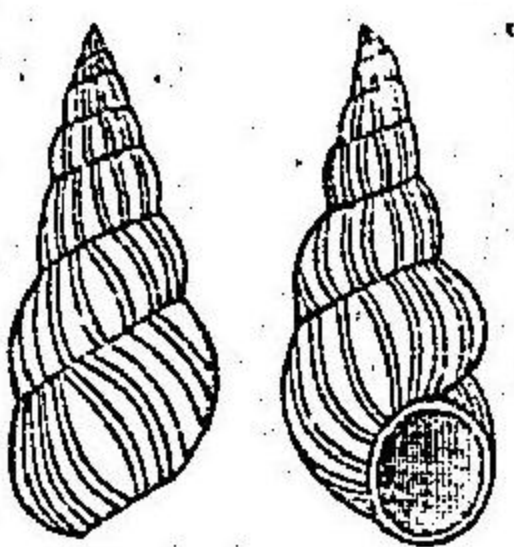


(甲)車介 *Solarium* (本邦近海) (三分ノ二) *ゆおんふあるす* (石炭) (二分ノ一)

口ノ痕跡ナリ寒武利亞石炭ノ間ニ産ス○まぐるれヤ *Maclurea* 前屬ニ似テ厚強ナル曆ヲ有セリ寒武利亞及志留利亞ニ産ス

糸掛介 *Scalaria* (第百五十六圖) 塔狀ニシテ縫合線深ク各螺環ニハ糸ヲ掛ケタルが如キ

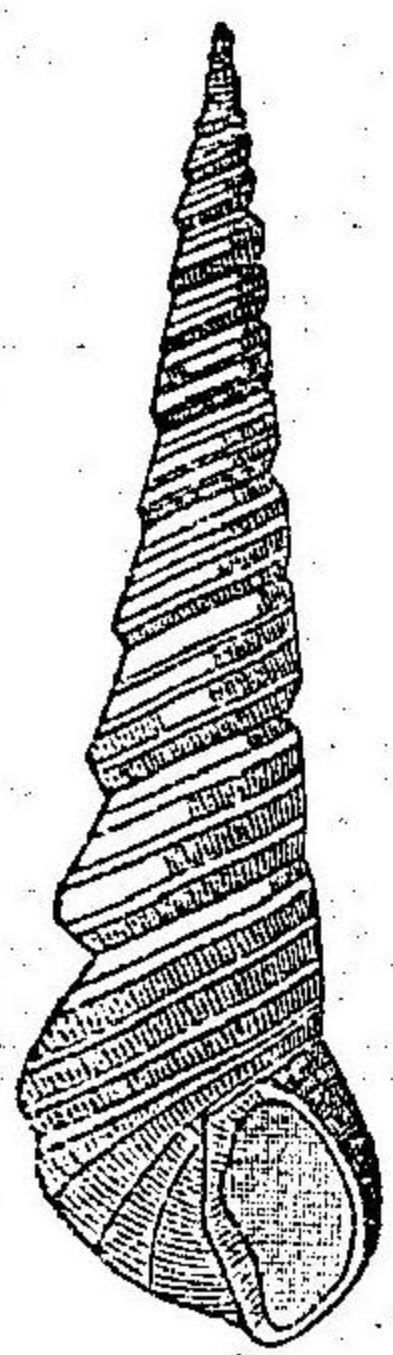
圖六十五百第



●糸掛介科 *Scalaridae* ○糸掛介 *Scalaria* (第百五十六圖) 塔狀ニシテ縫合線深ク各螺環ニハ糸ヲ掛ケタルが如キ凸狀ノ縱條アリ口ハ圓ク外唇往々厚シ三疊現世ノ間ニ産ス

●塔介科 *Turritellidae* ○塔介 *Turritella* (第百五十七圖) 高塔狀ニシテ許多ノ螺環ヨリ成リ其表面ニハ横理アルヲ常トス口ハ完形ナリ二疊現世ノ間ニ産ス

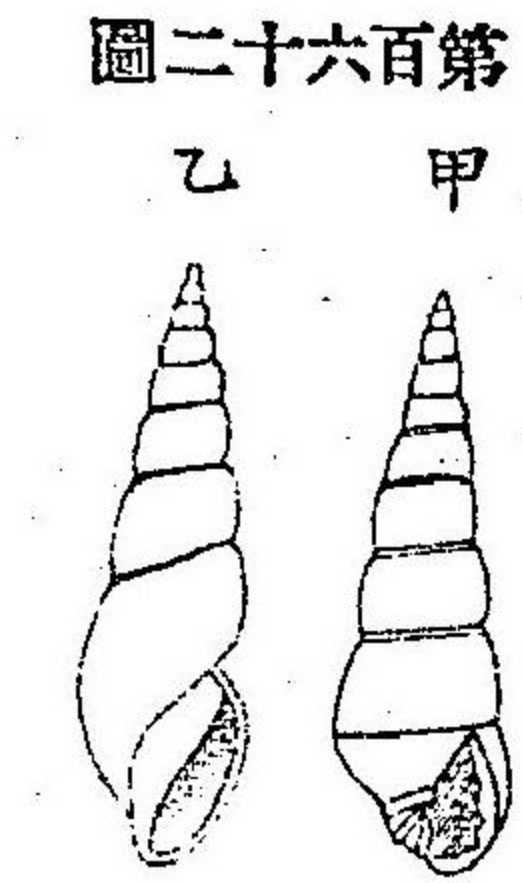
七五第百圖



●石蛇科 *Vermetidae* 殼ハ管狀ニシテ不規則ニ卷曲スルヲ常トス○石蛇 *Vermetus* (第百五十八圖) 初成ノ部分ハ螺旋狀ナルモ他ノ部分ハ不規則ニ蟠曲セリ殼内ニハ螺環ノ方向ニ一

規則ニ卷曲スルヲ常トス○石蛇 *Vermetus* (第百五十八圖) 初成ノ部分ハ螺旋狀ナルモ他ノ部分ハ不規則ニ蟠曲セリ殼内ニハ螺環ノ方向ニ一

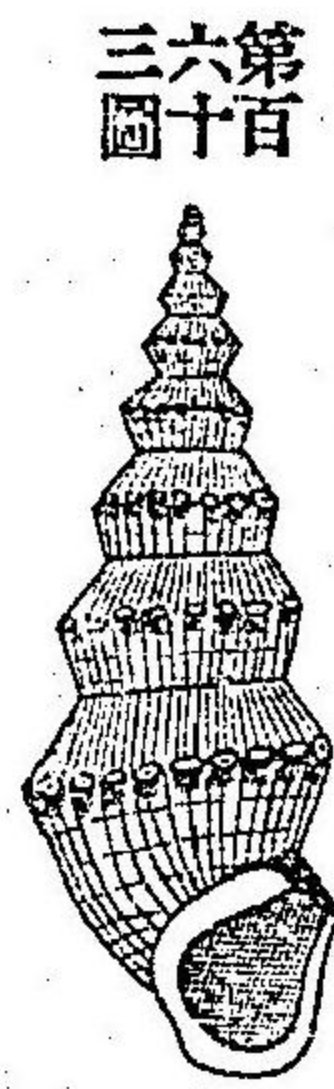
及現世ニ多シ



圖二十六百第

(甲)紫竹びらみでら、ぶ
り(中)新自然大
(乙)けむにちや、ちくた
(始新)三分ノ二

Macrocheilus 長卵形ニシテ躰螺環ハ甚ダ大ニ、外層
薄ク内層ニハ螺軸ノ下端ニ一個ノ鈍褶アリ泥盆
三疊ノ間ニ産ス○けむにちや Chemnitzia (第百六
十二圖乙)長卵若クハ塔ノ形ヲナシ螺環多シ中生
代及第三紀ニ産ス



三六第百
圖十

河貝子(あらにや、いんぐいな
六)始新)三分ノ二

●河貝子科 Melanidae 多クハ淡水罕ニハ半鹹
水ニ棲メリ○河貝子 Melania (第百六十三圖)卵
形塔形等ニシテ表面ニハ黒色ノ表皮ヲ被リ
平滑ナルカ又ハ種々ノ文理アリ口ハ完形ヲ

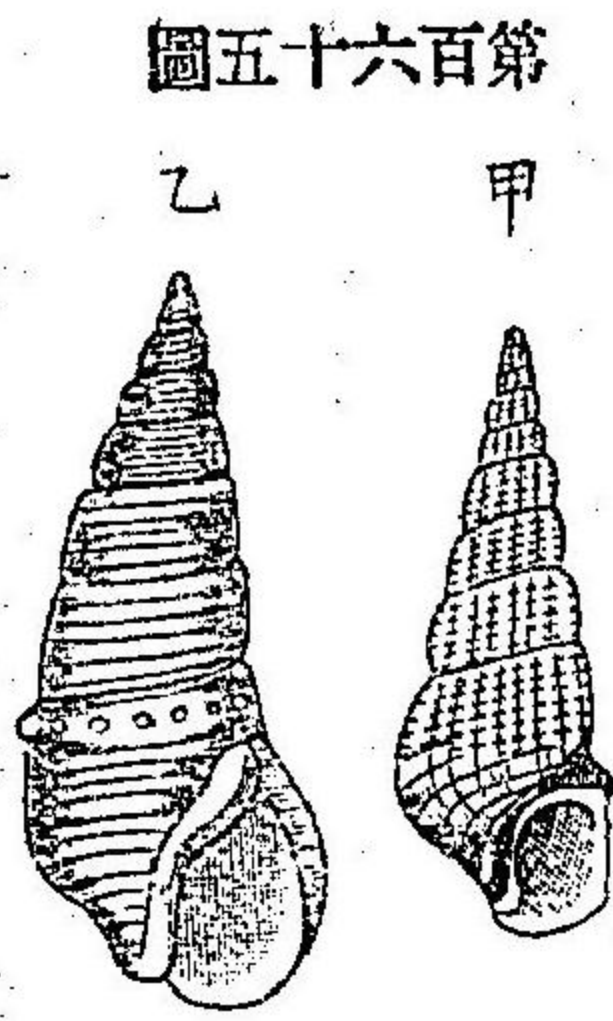


四六第百
圖十

れりねや、しらけや(侏羅)自然大

個ノ褶襞アリ是レ殻ノ縦斷
面ニ於テ殊ニ明カナリトス
侏羅及白堊ノ特産ニシテ土

(甲)川合介せりちうむ、ぶり
つむ(漸新)自然大
(乙)寄居虫らんげにや、ぞな
り(鮮新)東京四近、自然大



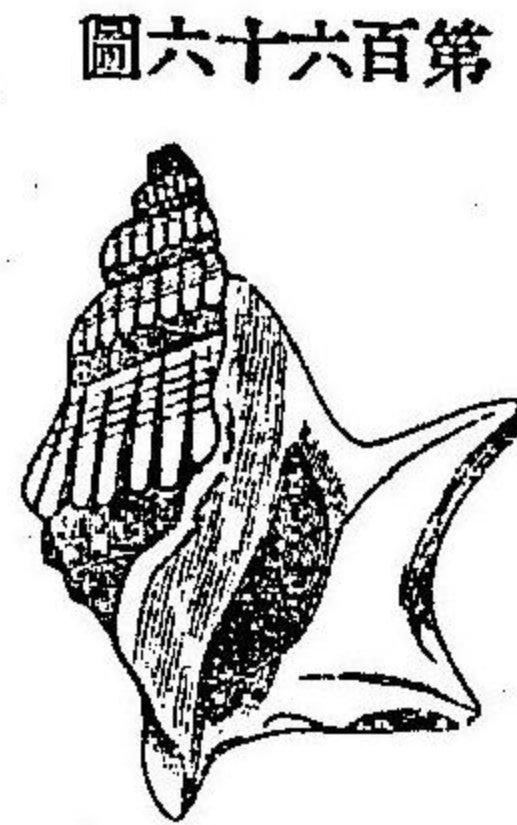
圖五十六百第

佐ノ侏羅石灰岩中ニモ亦其一種ヲ出ス
●川合介科 Cerithiidae 本科ニ屬スル者ハ其數甚
ダ多ク化石ニ産スルモノ殆ド一千種アリテ今
尙存スル者モ尙三百五十種ニ下ラズ而テ其過
半ハ海産ナレド亦半鹹水及淡水ニ栖ムモノモ
少カラズ○川合介 Cerithium (第百六十五圖甲)塔

ナシ前方稍々突出ス侏羅ニ現ハレ今尙ホ存ス○めらのぶしす Melan-
opsis 河貝子ニ似テ前方ニ溝アリ第三紀ニ産ス

●ねりねや科 Nerineidae ○ねりねや Nerinea (第百六十四圖)高塔狀ニシテ
螺環殆ド扁平ニ、口ハ四角或ハ橢圓形ヲ呈シ外層及螺軸ニ一個乃至五

狀ニシテ口楕圓形ヲナシ前方伸長シテ溝ヲ形リ後方ニモ亦概テ溝ヲ具フ三疊現世ノ間ニ産ス○ばたみです Potamides 前屬ニ似テ表面ニハ褐色ノ上皮アリ半鹹水及淡水中ニ栖メリ白堊ニ現ハレ今モ尙存ス○寄居虫 Lampania (第百六十五圖乙)ばたみですニ似テ縦理ナシ三紀現世ノ間ニ産ス



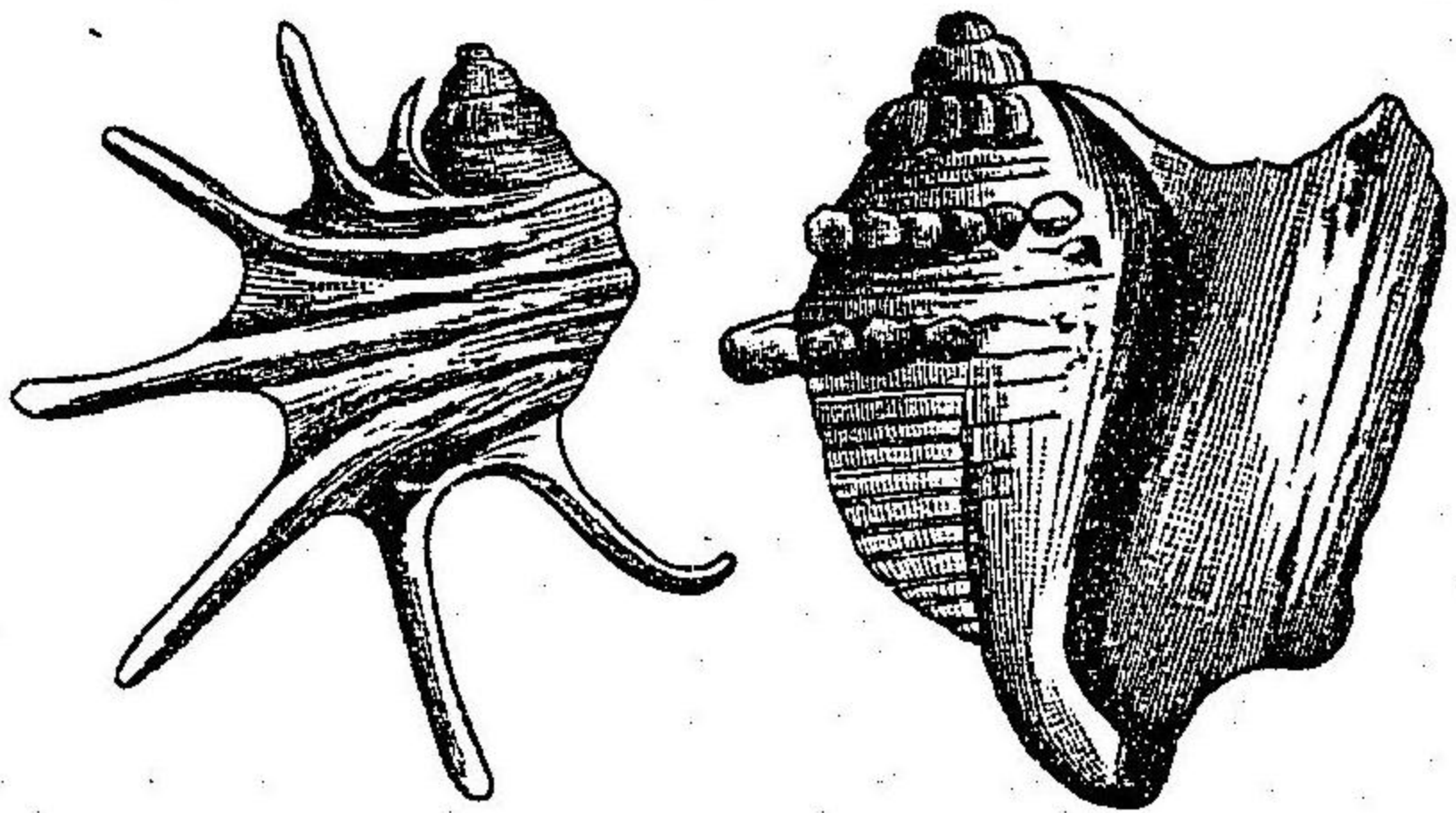
第六百六十六圖
鵝足介あはれいす、こ
りたくちるす(漸新)自
然大

●鵝足介科 Aporrhaidae ○鵝足介 Aporrhais (第百六十圖)殼ハ塔狀ニシテ口狹ク前方ハ伸長シテ溝ヲナシ外唇ハ擴張セルカ又ハ指狀ニ突出セリ侏羅現世ノ間ニ産ス

●不登呂介科 Strombidae 卵狀塔狀又ハ紡錘狀ニシテ外唇多少擴張セリ○不登呂介 Strombus (第百六十七圖甲)螺旋部短ク臑螺環甚ダ大ナリ口ハ細長ク前後ニ溝アリ外唇ノ前方ニハ又一個ノ斷口ヲ有ス白堊ニ現ハレ今ハ熱帶地方ニ尤モ多シ○蜘蛛介 Pteroceras (第

第百六十七圖

甲 乙



(甲)不登呂介すさるんぶす、くらつ
しふるむ(白堊)五分ノ四
(乙)蜘蛛介ぶてるせらす、おせや
(侏羅)二分ノ一

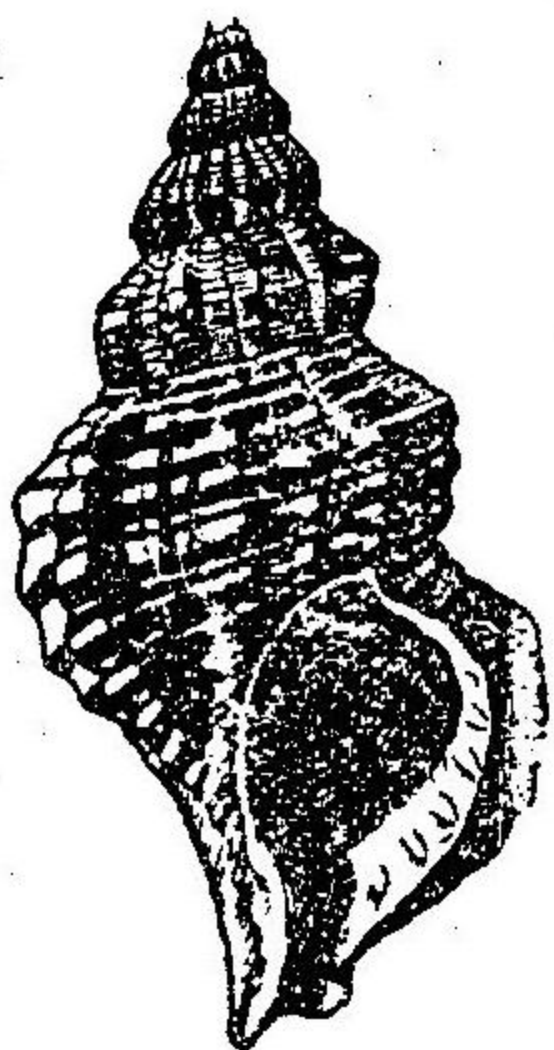
百六十七圖乙)外唇指狀ヲナシテ伸長ス侏羅現世ノ間ニ産ス

●母衣介科 Dolidae ○母衣介 Dolium 殼薄クシテ膨レ多少球狀ヲナシ螺旋部短クシテ臑螺環甚ダ大ナリ横理アルヲ常トス口ハ大ニシテ前方ニ小溝ヲ具フ白堊ニ現ハレ今尙存ス

●法螺介科 Tritonidae ○法螺介 Triton (第百六十八圖)塔狀ニシテ臑螺環大ニ、各螺環ニハ不規

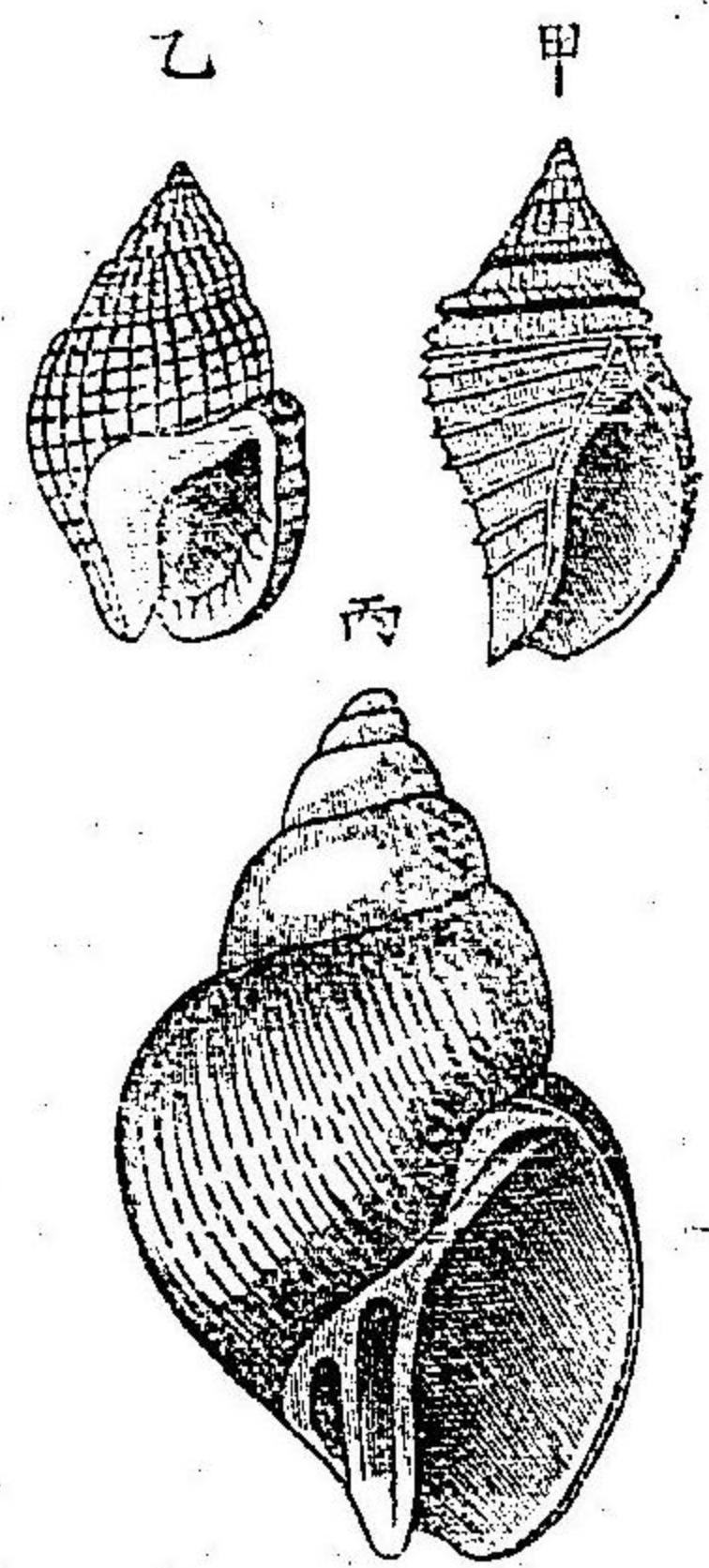
則ナル縦隆脊アリ口ノ前後ニ溝ヲ具フ白堊現世ノ間ニ産ス

第百六十八圖



法螺介さりさん、ふらんごりくす
(漸新)自然大

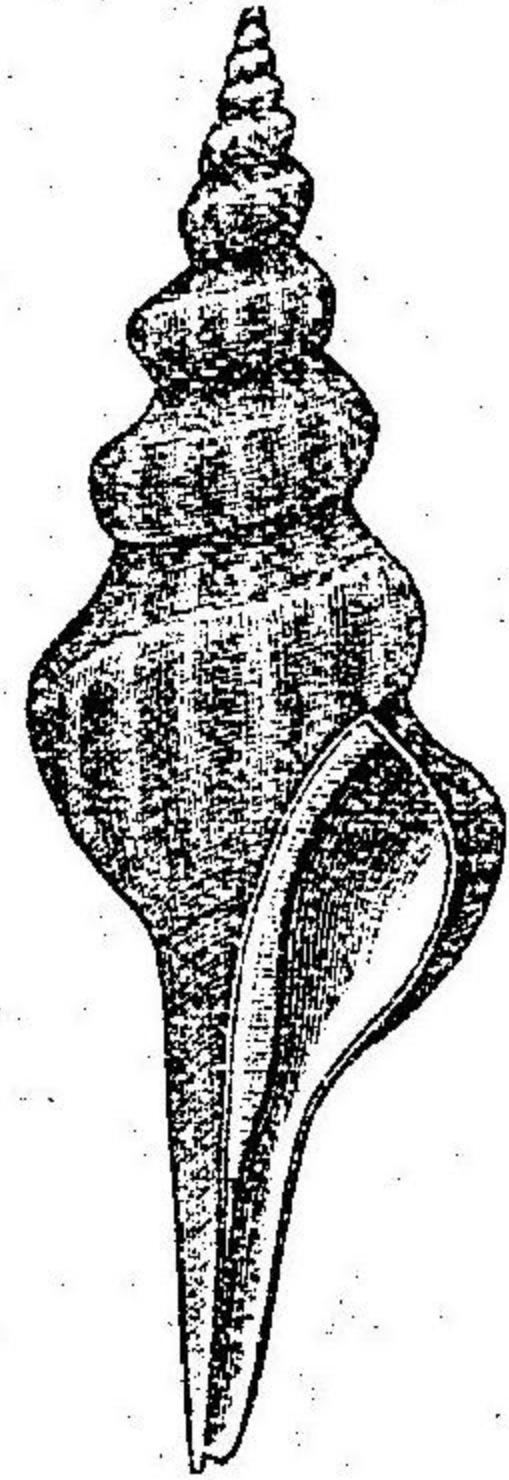
圖九十六百第



(甲)衣介介なくしぬむ、かしだりや(中新)
(乙)松虫介なつさりうふつせんす(東京近傍鮮新)
(丙)小甲香ふぶるな、やほにか(同上) 以上自然大

●衣介科 Buccinidae 口大ニ溝短
ク螺軸滑カナリ ○衣介 Buccinidae
num (第百六十九圖甲)殼ハ卵形
ニシテ角質ノ上皮ヲ被リ螺旋
部高ク且ツ尖リ口ハ大ニシテ
橢圓狀ヲ呈シ内唇ハ擴延シ外

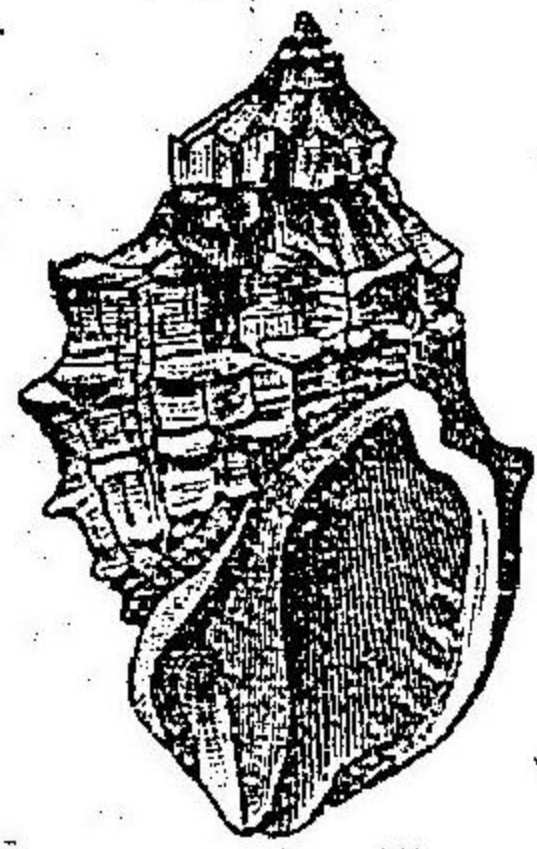
圖十七百第



夜啼介、ぶうさす、るんぎるすきりす(中新)白
然大

唇ハ薄クシテ滑カナリ第三紀及現世ニ産ス ○松虫介 Nautilus (第百六十
九圖乙)前屬ニ似テ外唇厚ク小齒ヲ有セリ白堊、始新、漸新等ニハ罕ニ中
新鮮新及現世ニハ甚ダ多シ東京
附近ノ鮮新層ニハ二種ヲ産ス ○
小甲香 Ebuna (第百六十九圖丙)卵
形ニシテ外面滑ニ臍アリ第三紀
及現世ニ産ス

圖一十七百第

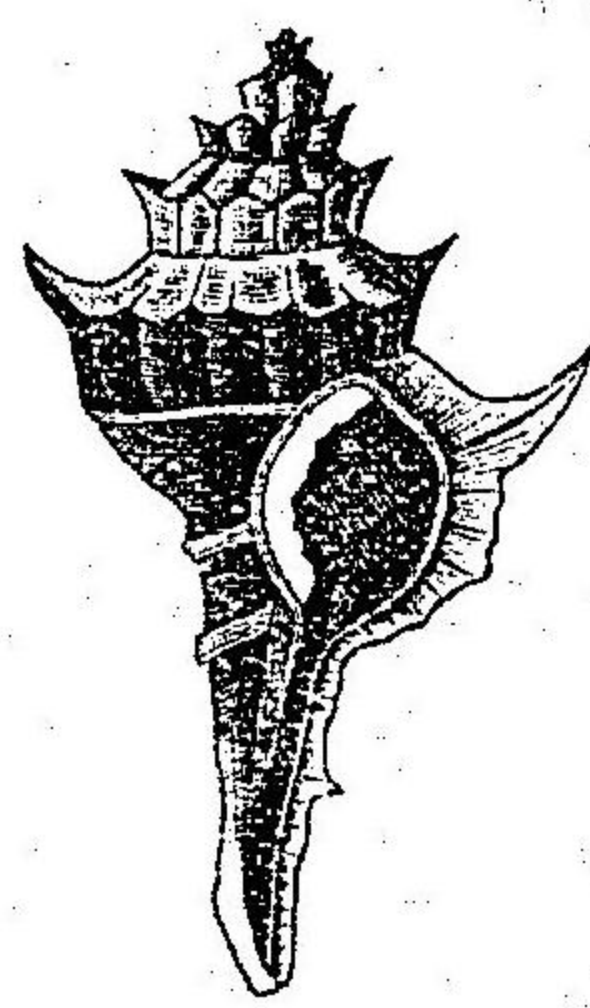


荔枝介ふるぶら、ふらた(中
新)自然大

●夜啼介科 Fusidae 多少紡錘狀ヲナシ溝ハ大抵長シ ○夜啼介 Fusus (第
百七十圖)螺軸部ハ塔狀ヲ呈シ溝ハ直ニシテ長シ螺軸ニハ褶ナシ第三
紀及現世ニ産ス

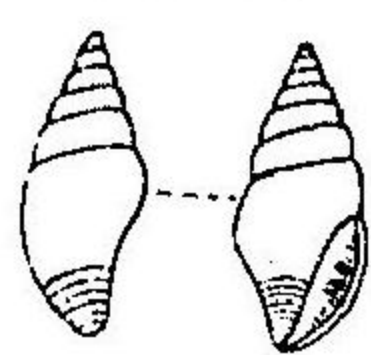
悪鬼介むれつくす、すびにこ
すた(中新)自然大

圖二十七百第



●荔枝介科 Purpuridae ○荔枝介 Purpura (第百七
十一圖)卵形ニシテ軸螺環大ニ、螺旋部短ク口廣
シ溝ハ短フシテ曲リ螺軸ハ扁平ニシテ滑カナ
リ第三紀及現世ニ産ス
●悪鬼介科 Murexidae ○悪鬼介 Murex (第百七十
二圖)卵狀ニシテ螺旋部ハ長短一定セズ而テ
各螺環ニハ少クモ三行ノ縱隆脊若クハ又刺
或ハ疣ノ縱列アリ溝ハ概テ長クシテ管狀ヲ
ナシ内唇滑ニ、外唇厚シ白堊ニ出現シ現世ニ
於テ甚ダ多シ

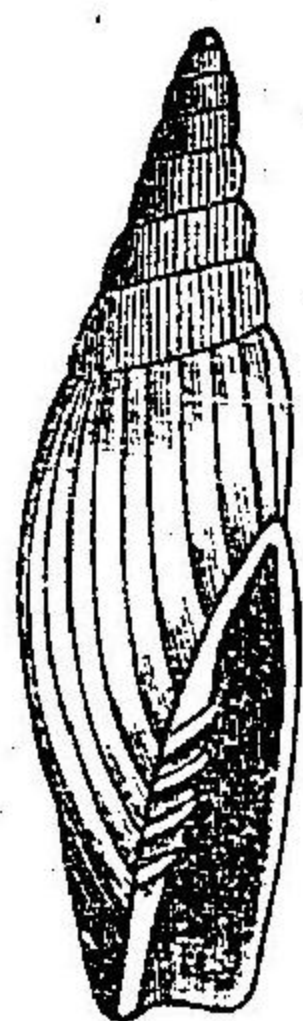
三七第
圖十百



懷介、こる
んべら、す
くりぶた
(東京近傍
鮮新)自然
大

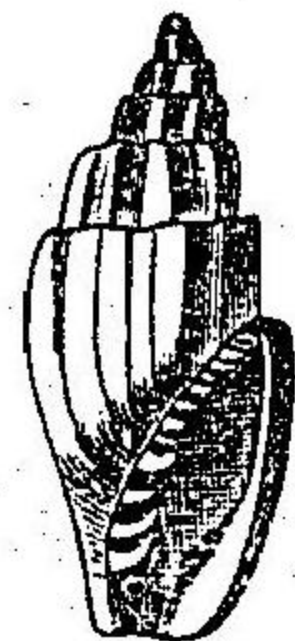
朝鮮筆みさら、ふとふなるみす(鮮
新)三分ノ二

四七第
圖十百



枕介(るた、むりし
な(始新)自然大

五七第
圖十百

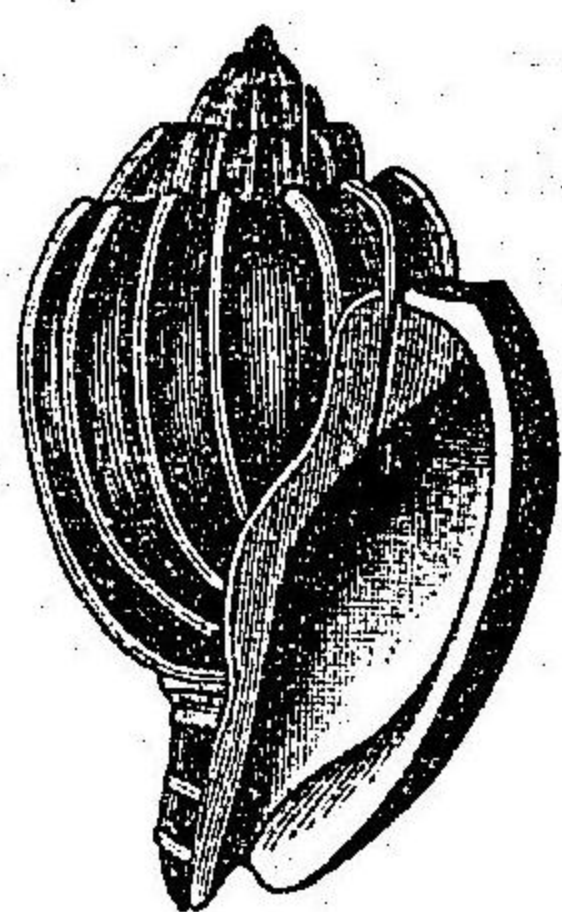


●懷介科 *Columbellidae* ○懷介 *Columbella* (第百七十三圖)
殼尖卵形ニシテ螺旋部短ク口ハ長形ヲ呈シ中央ニ於テ
最モ狹シ外唇ハ厚ク其内面ニ齒アリ溝ハ短ナリ第三紀
及現世ニ産ス

●朝鮮筆科 *Mitridae* ○朝鮮筆 *Mira* (第百七十四圖)殼長ク
塔狀或ハ紡錘狀ヲナシ口モ長クシテ狹シ
内唇ニ數條ノ斜褶アリテ其最モ上ナルモ
ノ尤モ大ナリ白堊現世ノ間ニ産ス

●枕介科 *Volutidae* ○枕介 *Voluta* (第百七十
五圖)殼厚ク大概紡錘狀ヲナシ螺旋部割合ニ短ク
シテ軀螺環大ナリ内唇ニハ數條ノ大褶アリテ其
前ナル者尤モ大ニ溝ハ廣クレヒ短シ白堊現世ノ
間ニ産ス

圖六十七百第

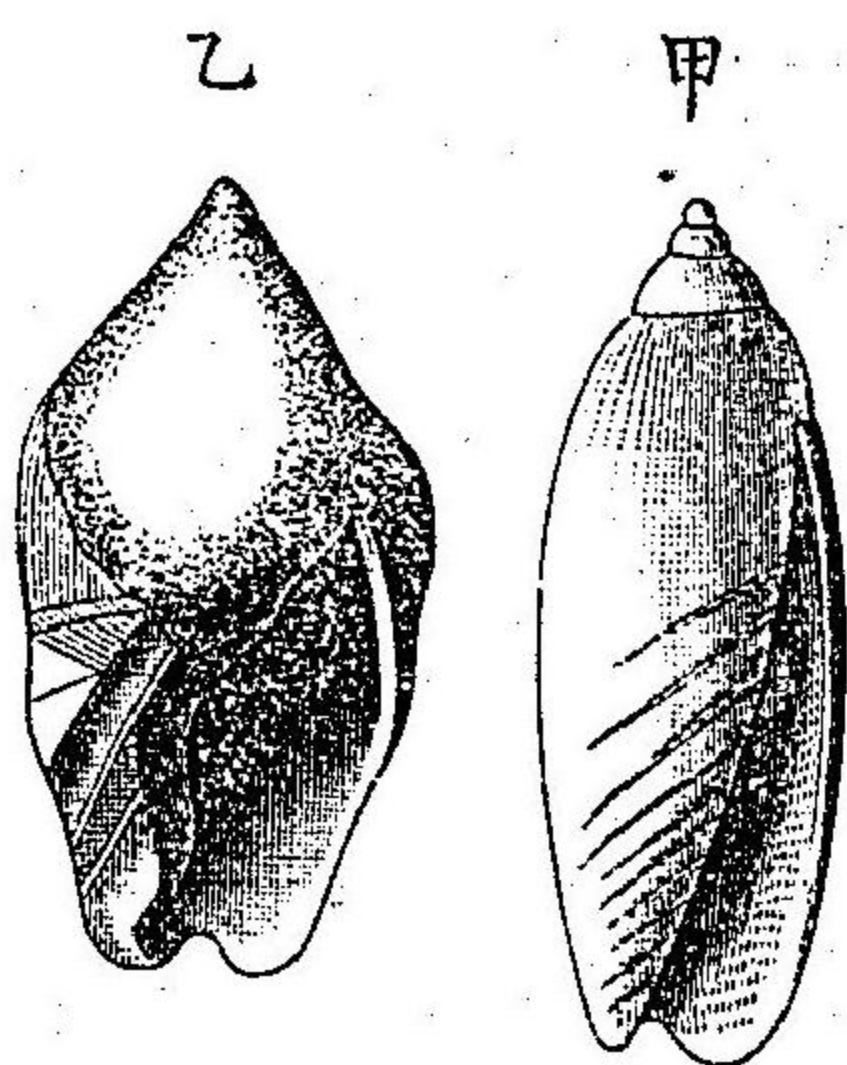


蜀紅螺(るた、むりし
な(始新)自然大

●蜀紅螺科 *Harpidae* ○蜀紅螺 *Harpa* (第百七十
六圖)殼膨レ螺旋部甚ダ短クシテ軀螺環ハ甚ダ
大ナリ各螺環ニ數多ノ併行セル縱隆脊アリ口
廣シ第三紀及現世ニ産ス

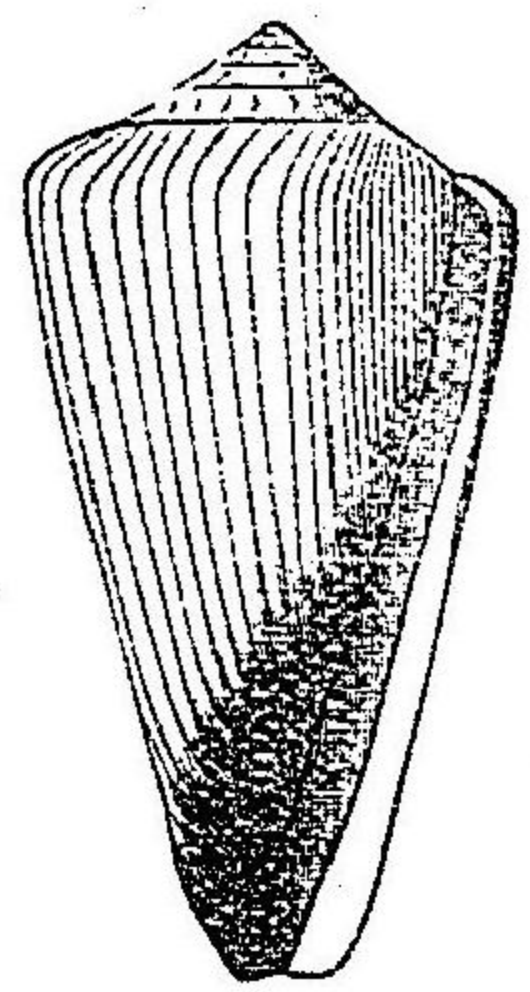
●榧介 *Olividae* 殼長クシテ厚ク表面滑カニシテ
光澤アリ口ハ狹ク螺軸ノ下端捻曲セリ○
榧介 *Oliva* (第百七十七圖甲)畧ボ圓筒狀ニ
シテ螺旋部甚ダ短ク軀螺環ハ大ニシテ且
ツ其下部ハ滑カナル石灰層ヲ以テ被覆セ
ラル第三紀及現世ノ産ナリ○龍宮壺 *Anoel-*
Laria (第百七十七圖乙)前者ニ似テ螺旋部ノ
縫合線上ヲ被覆スルニ光澤アル石灰層ア
リ白堊ニ現ハレ第三紀及現世ニ多シ

圖七十七百第



(甲)榧介(るた、むりし
な(始新)自然大
(乙)龍宮壺(るた、むりし
な(始新)自然大

圖八十七百第



阿古女、ミウメス、ほんでるさす
(中新)三分ノ二

管介ふるるさま、のた、(中新)
自然大

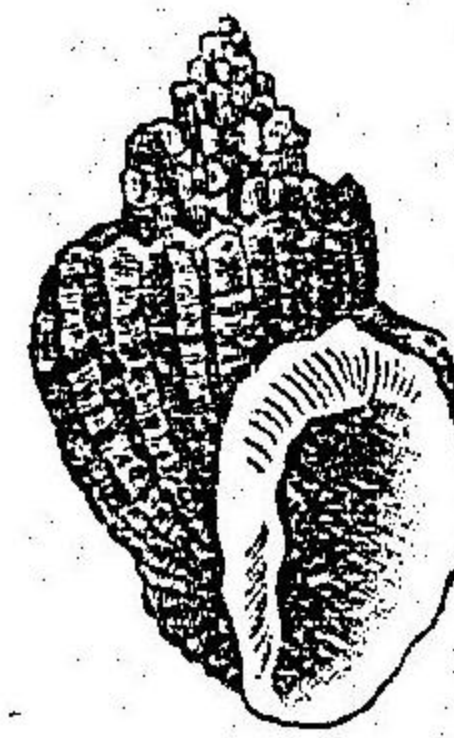
九七第
圖十百



金剛法螺、んせらりや、
みけりに(中新)自然大

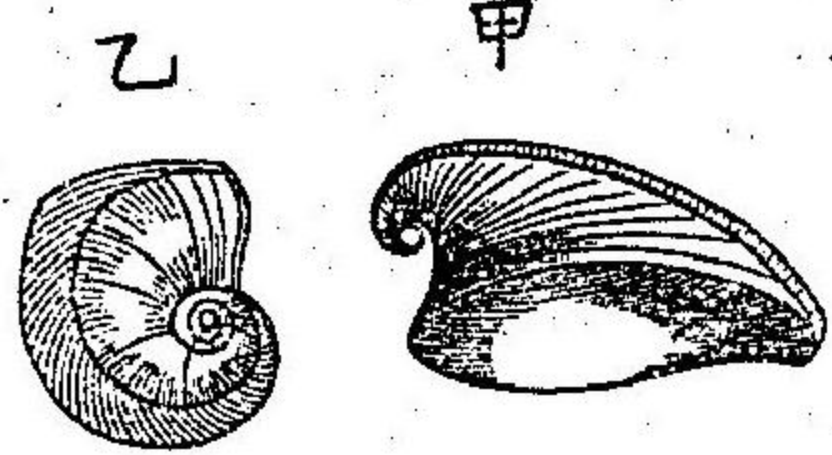
ハ長ク内唇滑ニシテ外唇ニ一個ノ深キ斷口アリ
白聖現世ノ間ニ産ス

圖十八百第



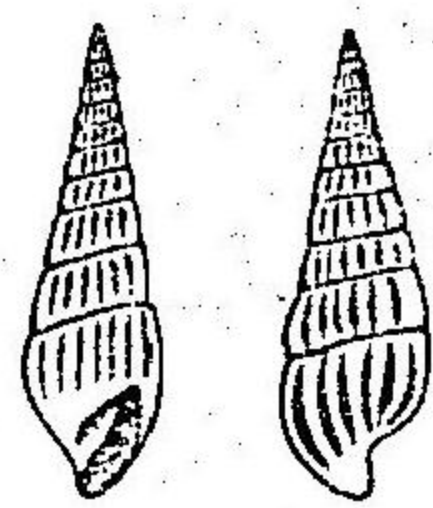
●金剛法螺科 Cancellaridae ○金剛法螺 Cancellaria
(第百八十圖)卵形或ハ塔状ニシテ躰螺環膨レ溝ハ

圖二十八百第



(甲)りなりカ
やんびう
むん(一)現
世(二)ノ一
分(三)ノ二
た(四)らん
る(五)ん
自然大

第百
八十
一圖



錐介てれぶら、
びげるちた(東
京近傍 鮮新世)
自然大

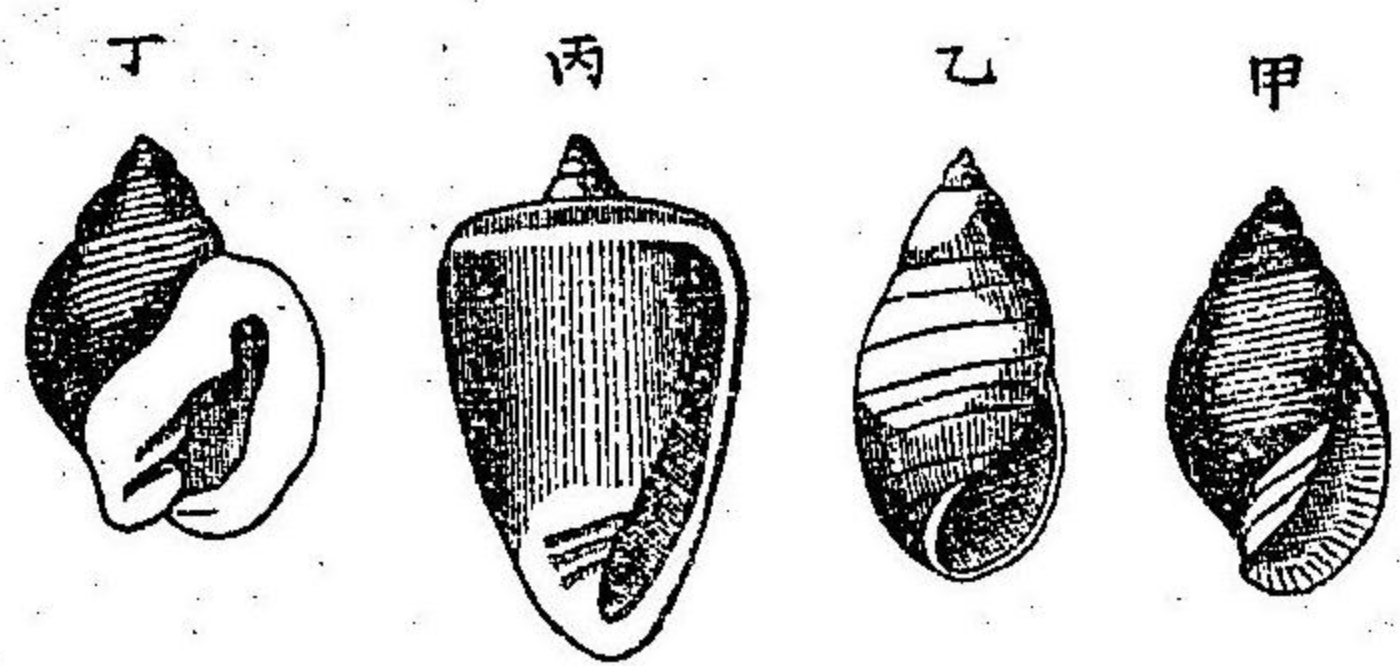
短クシテ曲レリ螺軸ニハ斜褶アリ白聖現世ノ間ニ産ス

●錐介科 Terebridae ○錐介 Terebra (第百八十一圖)高塔
状ニシテ螺環多ク口ハ圓形若クハ四角形ヲナシ溝甚
ダ短ク外唇薄シ唇ハ角質ナリ第三紀及現世ニ産ス

○第二目 異足類 Heteropoda

海産ニシテ足ハ鱗状ヲナシ頭ハ長ク伸暢シテ可動
的ノ眼ヲ有セリ殻ハ全ク之ナキカ若シ又之アラバ
極テ薄弱ナリ是故ニ化石甚ダ少シ左ニ二屬ヲ擧グ
○かりなりヤ Carinaria (第百八十二圖)甲)殼烏帽子状
ニシテ其質玻璃ノ如ク透明ナリトス前方ニ稜アリ
第三紀及現世ニ産ス ○あとらんだ Atlanta (同圖乙)

圖三十八百第



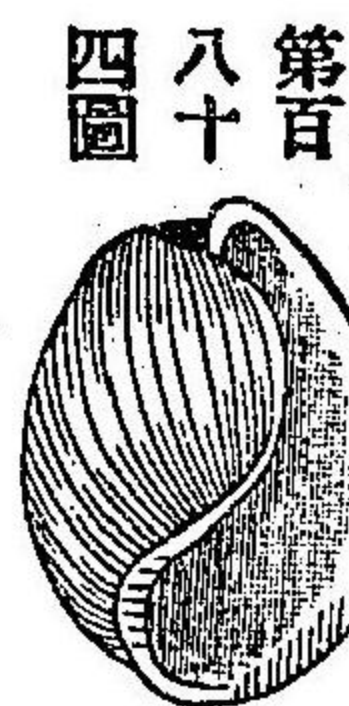
(甲) 捻介あくちよん、
しむらたす(漸新)自
然大
(乙) あくちよん、み
よそちす(侏羅)自然
大
(丙) あくちよん、れ
のくしやな(白堊)五
分の一
(丁) リんぎくら、ある
くた(東京近傍鮮
新)三倍大

小ニシテ平面螺旋状ナリ第三紀及現世ニ産ス

○第三目 後鰓類 Opisthobranchiat

鰓ハ心臟ノ後方ニ位シ雌雄同躰ナリ殻ハ有ルコト
アリ又無キコトアリ

● 捻介科 Acteonidae 殻大ニシテ螺旋状ヲナシ其形
チ畧ボ楕圓ナリ口ハ長ク其下端圓キカ又ハ時ニ溝
ヲ具フ螺軸ニ褶アリテ壓ハ角質ナリ○捻介 Acteon
(第百八十三圖甲)楕圓或ハ筒状ニシテ表面ニハ横理
若クハ點文アリ口ハ卵形ヲ呈シ下端圓ク外唇鋭ク
シテ螺軸ニ一條乃至三條ノ褶襞アリ既ニ三疊ニ現
ハレ今モ尙存ス○あくちよん Acteonina (第百八十
三圖乙)前屬ニ似テ躰螺環大ニ螺軸ニハ褶襞ナシ石



第百
八十四
圖

炭現世ノ間ニ産ス○あくちよんら Acteonella (第百八十三圖丙)殻厚ク
シテ膨レ螺旋部短ク躰螺環ハ甚ダ大ナリ口ハ狭シト雖モ前方ニ至リ
稍廣シ螺軸ニハ三大褶アリテ表面ハ滑カナリ白堊ニ産ス○りんぎく
ら Ringicula (第百八十三圖丁)小ニシテ卵形若クハ球形ヲナシ螺旋部短
ク口ハ狹隘ニシテ下端ニ短溝アリ外唇ハ厚ク螺軸ニ二條或ハ三條ノ
褶襞アリ白堊現世ノ間ニ産スりんぎくら、あるくた、Ringicula arcata
ハ東京四近ノ三紀層ニ産ス

● 葡萄介科 Bullidae ○葡萄介 Bulla (第百八十四圖)殻膨
レ表面平滑ニシテ螺旋部凹状ヲナシ口ハ長ク下方廣
シ白堊現世ノ間ニ産ス

○第四目 有肺類 Pulmonata

概テ陸生若クハ淡水生ニシテ心臟ノ前方ニ肺アリ雌雄同躰ナリ殻ハ

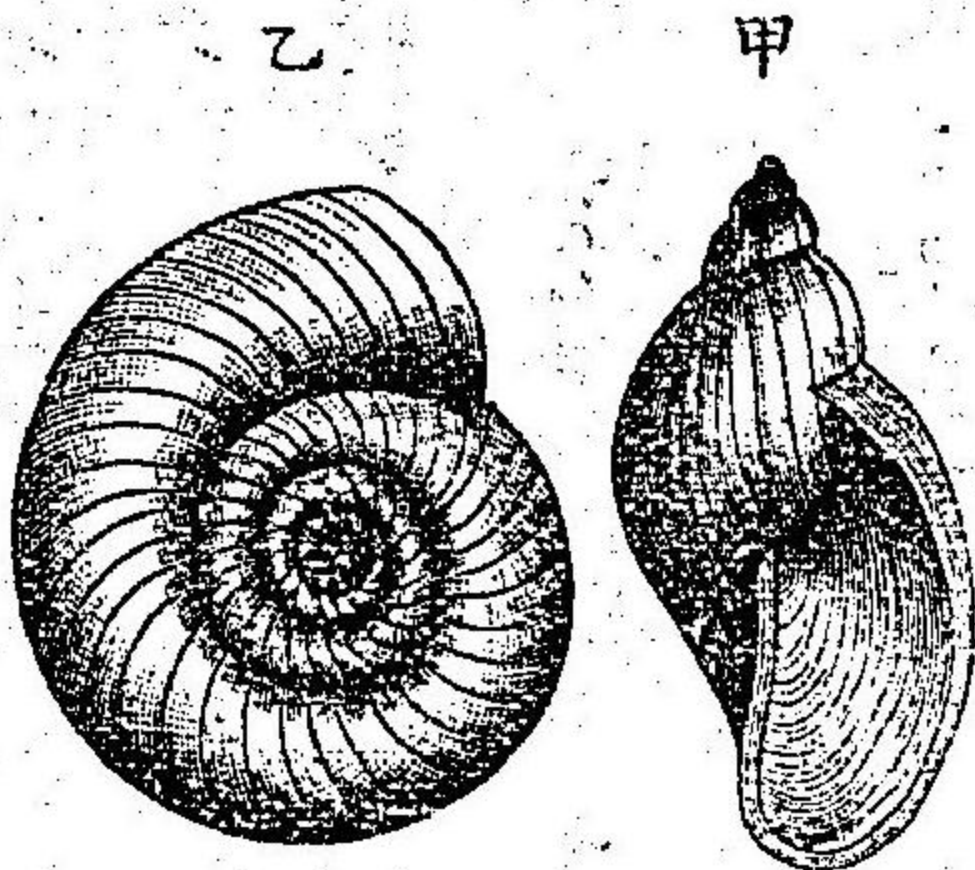
第百八十五圖



小耳介あう
りくら、ち
うてんぶれ
い(始新)自
然大

全ク之レナキコトアリ
●小耳介科 *Anniculidae* 半鹹水ニ多シ○小耳介 *Annicula*
(第百八十五圖)殼ハ長卵形ニシテ口狹ク螺軸ニ二個若
クハ三個ノ褶襞アリ外唇ノ内面厚ク時ニ齒ヲ具フ侏
羅ニ現ハレ今尙存ス

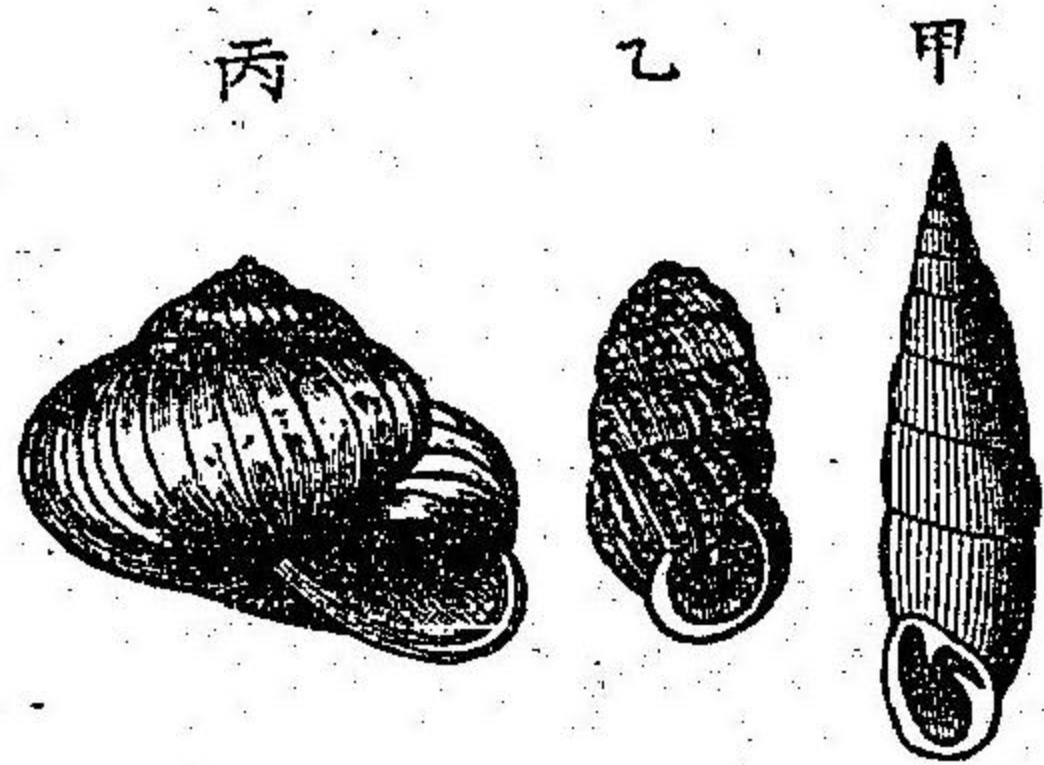
第百八十六圖



(甲)綠桑螺りむれうす、ばき
つすた(中新)自然大
(乙)平卷介ぶらのるびす、こ
るぬ(中新)自然大

●綠桑螺科 *Limnaeidae* 淡水産ニシテ殼薄ク口邊
銳シ○綠桑螺 *Limnaeus* (第百八十六圖甲)壳角質
ニシテ舐螺環大ニ口ハ廣ク螺旋部尖リテ螺軸
捻レタリ重ニ現世ノ産ナレモ又侏羅ニモ出ツ
○平卷介 *Planorbis* (第百八十六圖乙)殼ハ平面螺
旋狀ナリ侏羅現世ノ間ニ産ス
●蝸牛科 *Helicidae* 陸産ナリ○蝸牛 *Helix* (第百
八十七圖丙)螺旋部低クシテ形ハ圓錐圓盤球狀

第百八十七圖



(甲)煙管介くらうしりや
ぶらくらあうこん(本邦現
世)自然大
(乙)ぶらば、むすこらるむ
(洪積)自然大
(丙)蝸牛(りつ)くす、でふ
れくさ(中新)自然大

等ヲナシ口ハ圓形若クハ半月形ナリ第三紀ヨリ
現世ノ間ニ産ス○ぶらむす *Bulimus* 概テ卵形ニ
シテ膨レ螺旋部頗ル高シ口ハ丈幅ヨリ大ニシテ
前方圓シ白堊現世ノ間ニ産シ現世ノモノハ其種
凡一千アリ○煙管介 *Clausilia* (第百八十六圖甲)殼
ハ左捲キニシテ細長ク數多ノ螺環ヨリ成ル口ハ
卵形ニシテ内唇ニ二褶襞アリ第三紀現世ノ間ニ
産ス○ぶらば *Pupa* (第百八十七圖乙)小ニシテ圓
筒狀ヲナシ口ハ半月形ナリ已ニ石炭紀ニ現ハレ
今モ尙存ス

○腹足介ノ時代的分布

腹足類ハ其履歷極テ古キ動物ニシテ其初生ハ既ニ寒武利亞ニ在リ而

テ當時多ク産セシモノハふるるとまじりや及むるちそにヤノ二屬ニシテ之ニ次ク者ハゆんふあるす、べれるふをん、立波介等ナリ次期ノ志留利亞ニ至レバ以上列舉セシ諸屬ハ一層其數ヲ増シ本紀ニ大ニ開發セシ腹足類ノ主要部分ヲ占ムルニ至レリ泥盆ニ入レバ以上ノ外まくるけいるす屬甚ダ多ク其他角介、石籠等モ亦少カラズ次ノ石炭紀ハ寒武利亞ヨリ繼續シ來リシふるるとまじりや、べれるふをん及ゆんふあるすノ最大發育ニ達セシ時代ニシテふうばノ如キ陸生有肺類ノ初テ現レシモ亦此紀ニアリ二疊紀ハ一般ニ軟軀動物ニ乏ク下リテ三疊ニ入レバ古生代産ノ中ニハ絶滅セシ者多シト雖モ尙ホふるるとまじりや、ゆんふあるす其他浮介、腰高科 Trochidae、糸掛介科 Scleridae 等ノ如キ完形口ヲ有フルモノ大多數ヲ占ム然レモ斷口ノ者亦全ク之ナキニ非ルナリ侏羅紀ニ入レバ形勢一變シぬりぬや科、鵝足介科 Aporhidae、不登呂介科 Strombidae、衣介科 Buccinidae、川合介科 Cerithidae、懷介科 Colum-

bellidae 等陸續輩出シ斷口類大ニ勢力ヲ得ルニ至レリ然レモ未タふるるとまじりや科、玉介科 Naticidae、浮介科、腰高科等ノ如キ本紀ニ産スル完形類ヲ壓倒スルニハ至ラズ以上ノ外此紀ニ産スルハ後總腹足類中捻介科 Acteonidae 并ニ淡水生ノぬりちな、田螺、河貝子、平捲介等ナリトス中生代ノ末葉白堊紀ニ至レバ斷口類益々繁殖シ其數完形類ト零相伯仲スルニ至レリ而テ其重ナル者ハ己ニ侏羅ニ出テシ者ノ外惡鬼介科 Murioidea、夜啼介科 Fusidae、管介科 Pleurotomidae、金剛法螺科 Cancellaridae、枕介科 Volutidae、法螺介科 Tritonidae 等ナリトス亦當時ノ淡水的沈積中ニハ蝸牛科、河貝子科ヲモ埋没セリ下リテ第三紀ニ入レバ斷口類ハ完形類ヨリ多數トナリ現世界ニ及テ遂ニ之ヲ壓倒シ腹足介中ノ主權ヲ握ルニ至レリ偕テ茲ニ特ニ記スベキハ彼ノ古生、中生ノ兩代ニ極テ盛ンナリシふるるとまじりや、屬ノ未タ全ク消滅セズシテ尙ホ其兩三種ヲ現世ノ海中ニ産スルコト是ナリ然レモ其個數甚ダ少シテ而テ世界

(二一)

中其標品ヲ所持スル博物館ハ實ニ指ヲ以テ數フルニ過ギザルナリ是
レ蓋シ其泯滅已ニ近キニ在ルヲ示スモノナルベシ

◎第四綱 翼足類 PTEROPODA

化學動物學

大洋ニ産スル雌雄同躰ノ軟躰類ニシテ頭ト躰軀トノ間ニハ判然タル
區劃ヲ呈セズ足ハ二大羽翼狀ノ鰭ニ變シ躰軀ハ或ハ長ク伸暢シ或ハ
其後部螺旋狀ニ卷曲ス裸躰ナルコトアリ又薄弱ナル角質軟骨質若ク
ハ石灰質ノ殼ヲ有スルコトアリ而テ其形ハ概テ左右相稱ヲ示セリ本
綱ノ化石ハ既ニ寒武利亞ニ産スト雖モ化石學上樞要ノモノニ非ス
二目アリ

一、裸躰類 Gymnosomata

二、有殼類 Thecosomata

○第一目 裸躰類 Gymnosomata

本類ハ殼ヲ有セズ隨テ又化石ナシ

○第一目 有殼類 Thecosomata

本類ハ殼ヲ具フルガ故ニ時々化石アリ

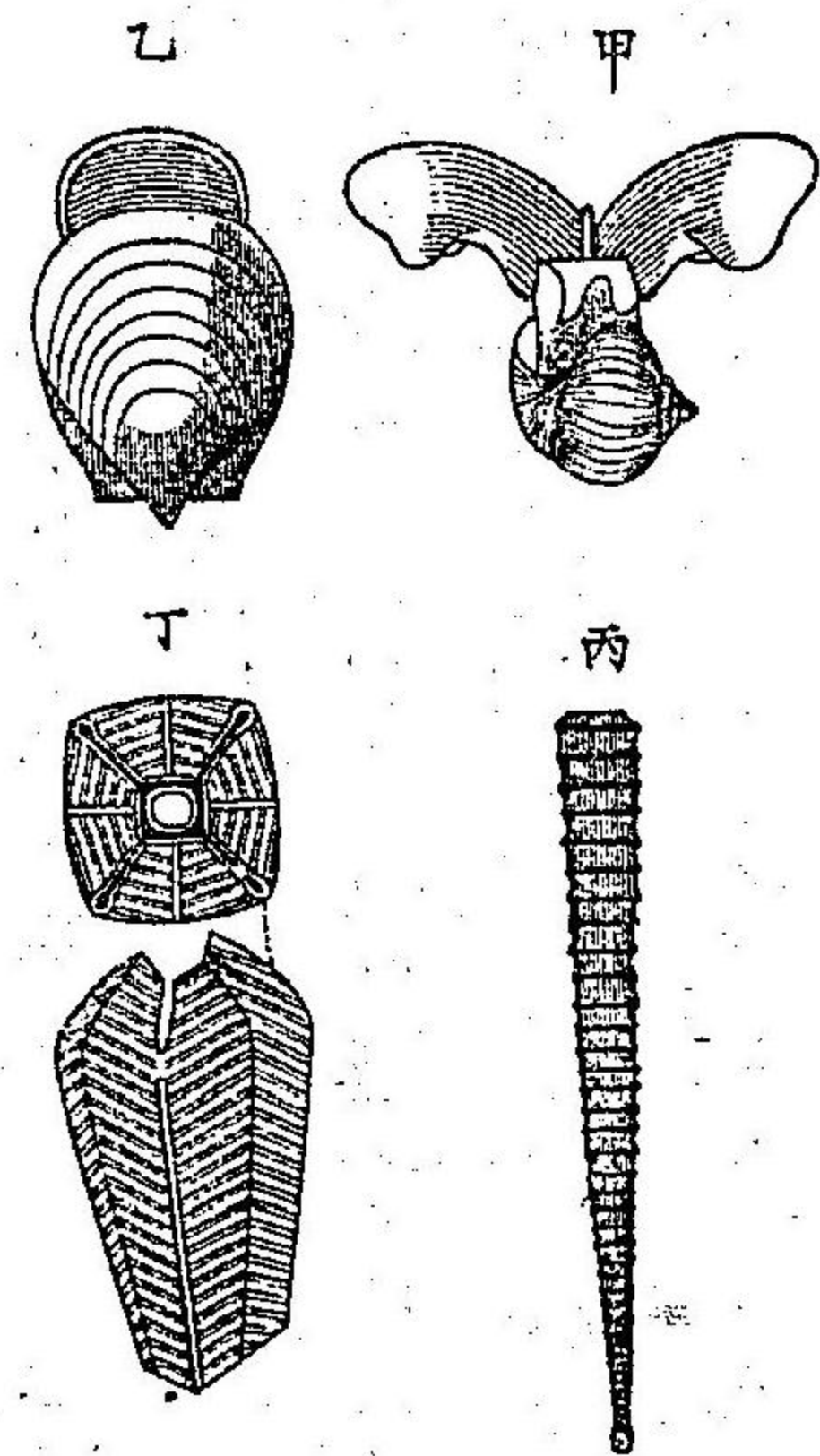
●りましな介科 *Limacnidae* 殼薄ク左捲ノ螺旋狀ヲナセリ往々唇ヲ具
フ○りましな *Limacina* (第百八十七圖甲) すびらりす *Spiralis* 等ハ本科ノ
諸屬ニシテ孰モ第三紀ヨリ現世ノ間ニ産ス

(三一)

軟躰動物翼足類

●玻璃介科 *Hyalaeidae* 殼ハ概テ石灰質罕ニ角質ニシテ膨レタルカ又ハ
尖塔狀ナリ○玻璃介 *Hyalaea* (第百八十八圖乙) 球狀ニシテ左右ノ面ハ
稍々扁ク後端ニ一個乃至三個ノ刺アリ第三紀及現世ニ産ス○觸角石
Pentaculites (第百八十八圖丙) 細長キ倒圓錐形ニシテ下端ハ尖レルカ又
ハ球狀ニ膨脹シ表面ニハ數多ノ併行セル横凸條アリ志留利亞泥盆ノ
兩紀ニ甚ダ多シ○錐石 *Conularia* (第百八十八圖丁) 殼大ニシテ尖塔狀

圖八十八百第



甲) りまなしな、あんたるくちか(現世)動物共、自然大
乙) 玻璃介ひやれや、たうりれんしす(中新)自然大
丙) 觸角石てんたくりてす、あくありてす(志留利亞)
丁) 錐石こぬらりや、くわじりするかた(石炭)二倍大

ヲナシ下端鋭ク横断面ハ四角
ナリ因テ其形四ツ目錐ニ異ナ
ラズ然レドモ各側面ノ中央ニ
ハ一ノ縦溝アリ本屬ノ大ナル
者ハ長サ八寸ニ及ブ志留利亞
ニ現ハレ侏羅ニ滅ス○ひよ
りてすHyolithes 尖塔狀ニシテ
横断面ハ三角ナリ寒武利亞ヨ
リ二疊ノ間ニ産ス

化石學教科書上卷終

明治二十七年十一月十七日印刷
明治二十七年十一月二十日發行

(化石學教科書上卷與付)

著述者

横山 又次郎
東京市牛込區東五軒町三十五番地

發行者

小野 英之助
東京府下北豐島郡南千住町元地方橋場町千三百八十番地

發兌元

富山房書店
東京市神田區裏神保町九番地
電話番號千〇六十二番

印刷者

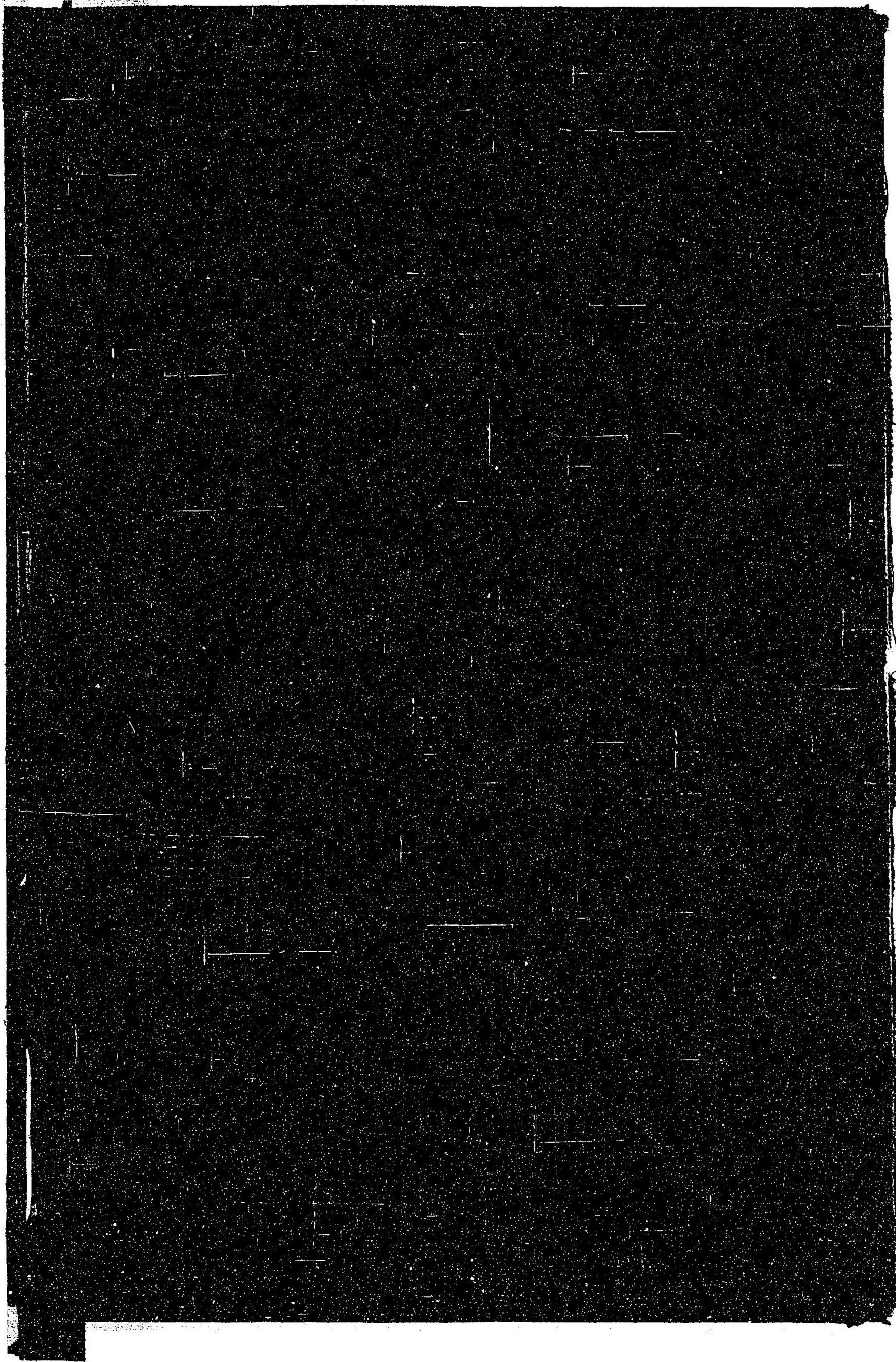
島 連太郎
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目拾二番地

印刷所

株式會社 秀英舎第一工場
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

版權所有

72
182



056323-001-0

72-152

化石学教科書

横山 又次郎/著

上

M27-30

CAL-0008



